

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	茂原市	代表者名	田中 豊彦
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0475-20-1519
担当者役職	係長	担当者氏名	風戸 嘉幸
住所	297-8511 千葉県茂原市道表1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体のDX推進に関して、行政側・市民側双方の事情に精通されており、多くの事例をご存じて、示唆に富んだ助言であった。
アドバイザーへの要望事項	次回に予定していた講演については、オンライン形式に変更させていただきたい(アドバイザー了承済)

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月24日	9時00分	10時15分		75
3-2. 派遣場所	会場名	茂原市役所	最寄駅	茂原駅	
	所在地	茂原市道表1番地	最寄駅からの交通手段	オンライン	
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	総務課総務情報係職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	DX推進体制や民間登用(外部デジタル人材)、財源(国庫補助等)、GIGAスクール等の他の計画との整合性、KPIの設定、高齢者・障害者等の対応、自動応答(チャットボット)のシビックテックによる開発(実証実験)	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	庁内におけるDX推進体制の整備、自治体DX推進基本方針の策定	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DX推進基本方針のあり方(施策のカタログではなく、ビジョンを描く)、使う人にとってうれしいデジタル化(使う職員側も)、「人にやさしいデジタル化=すべての人がデジタル機器を利用」ではない(デジタル機器を利用できる人(家族、NPO、自治会等)に100%アクセスできること)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXの推進について、他の自治体の取り組み状況等の教示を受け、今後の進め方についての助言をいただいた。また、9月16日(木)に予定しているアドバイザーによる講演について協議し、感染症の状況に鑑み、オンライン形式に変更することとした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	次回のアドバイザーによる講演(オンライン形式)は、実務担当者(係長級職員)を主な対象として実施する。また、庁外(市民活動団体等)についても、オンライン形式で参加していただくこととなった。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アドバイザーと総務情報係の担当者3名による事前打ち合わせのため、アンケートは実施しなかった	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	庁内におけるDX推進体制の整備、自治体DX推進基本方針の策定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

